

社会福祉法人あしーど 事業報告

1) 生活介護事業 デイセンターはみんぐ

1. 運営方針

- (1) デイセンターはみんぐは、どんなに障害が重くても、地域で当たり前に暮らせるノーマライゼーション社会の実現をめざします
- (2) デイセンターはみんぐは、障害の重い人たちの日中活動を支援します
- (3) デイセンターはみんぐは、障害の種類や程度にとらわれず、一人ひとりに必要な支援をさせていただくことにより、それぞれの人が希望する自立と社会参加を実現します

2. 事業内容

(1) 日中活動支援

運動プログラムと創作プログラム

日常的に取り組むものとして、毎日、デイルーム内で、様々な活動を実施しました。

※ 毎朝のラジオ体操、みんなで競技のできる遊び(手作りのボウリングや、的突きゲーム、ピンポンころころゲーム盤、筒倒しゲーム、サッカー、野球、ビリヤード、風船バレー、ドッジボール、魚釣り、カローリング、ジェンガ、ペタンク、輪投げなど)、天気の良い日の散歩など
書き初め・うちわ・ステンドグラス・鬼の面・魚釣りの魚・さくら、紫陽花、七夕、ハロウィン、クリスマス等の季節の飾りなど

料理プログラム

利用者の皆さんのお手伝いながら、月3回(星食作りの日、デザート作りの日、カフェタイムの日)をそれぞれ楽しみました。

※ スイートチリ唐揚げ丼、ミートドリア、ドライカレー、お好み焼き、クリームパスタ、ハヤシライス、サンドウイッチ、焼き肉等
苺大福、アイスクレープ、マーラーカオ、桃のムース、くるみパウンドケーキ、ヨーグルトムース、パンプキンパイ、ティラミス、生どら焼き、マグノリア、パンジー、プリン、等

音楽プログラム

月2回、パワーポイントを使ってカラオケや歌を組み入れたゲームを通じて、大きいに歌い、表現する喜びを味わっていただきました。

個別支援プログラム

今年度もグループで新聞を話題の材料にすすめるグループと、身体をリラクゼーションして体操をするグループを引き続き行ないました。また、利用者の方の個別のニーズに合わせた支援も行っています。

(2) 社会参加支援

外出の支援を中心に、地域社会の中で生き生きと過ごしていただくことを目標に取り組みました。

外出支援等

週に1から2回、午前、午後の2グループに分かれて、少人数で季節を感じる外出先へ出かけたり、イオンなどの店舗に出かけました。

※鬼太郎ロード、みるくの里、大山・琴浦・安来・境港・本庄方面へのドライブ、イオン・天満屋・ホープタウン・開放倉庫等の店舗、マックカフェ等の喫茶他

夏場の7日間は希望者の方と皆生に出かけ、プールを楽しみました。レクリエーションとして、全体やグループでの外出や行事にも取り組みました。

※木次花見、砂の美術館、シダックスカラオケ、MOVIX 映画鑑賞、はみんぐ大運動会(サンアビ)、ぶどう狩り、ハッピードリームサーカス、電車でGO!(松江)、バレンタイン企画、ホワイトデイ企画 等

(3) 家族支援

利用者の家族負担の軽減を図るために、入浴サービスを提供し、利用時間の延長にも必要に応じて応えるよう努めました。

個別支援計画をもとに、希望する家族との懇談を行ないました。

定期的に体重測定と車いすのメンテナンスを行い、結果を情報提供しています。

(4) 地域交流・地域連携

特別支援学校(皆生養護、米子養護)の中學・高等部の実習を受け、生徒さんに生活介護の施設を体験していただきました。6、7、10、11月に延べ20日、高等部生徒9人、中学部生徒2人の実習でした。また、例年、自治会からの依頼で校区民運動会プログラムに協賛しています。

3. 事業実績

(1) 開 所 日 月曜日～金曜日

(2) 開所時間帯 午前8時15分～午後5時00分

(3) 受入時間帯 午前9時30分～午後3時30分

(4) 休 業 日 土曜日・日曜日・祝日・夏季休業(8月13日から8月15日)・

年末年始（12月29日から1月3日）

(5) 受入日数 年間239日

延べ人数 年間4,221人

平均利用者数 1日 17、6人

(6) 職員配置 所長 1名（兼務）

支援員 17名（内、サービス管理責任者1名・支援員兼看護師2名含む）

栄養士 1名 調理員 2名

運転手 4名 計25名

(7) 利用者（平成31年3月末現在）

契約者数 29名（男性17名、女性12名）

内、新規利用者は0名

体調不良で利用のなかった方 0名

年度途中で入院等で利用のなかった方 2名

障害別 身体障害 27名（内、重症心身10名）

知的障害 2名（内、重度2名）

障害支援区分6 22名

障害支援区分5 6名

障害支援区分4 1名

市町村別 米子市22名／境港市2名／南部町1名／大山町1名／日吉津

村2名／安来市1名

年齢別 10代-0名／20代-10名／30代-13名／

40代-3名／50代-2名／60代-1名

(8) その他

重度障害児者支援事業に於いて、米子市14名、境港市2名、日吉津村1名を申請し、通所日数に応じて補助金を受けました。

4. 今年度の総括

年間を通じて、利用者の方には活動を通して社会参加していただけるよう意識して取り組みました。同時に個別支援計画の作成に取り組みました。職員会議では職員間の情報共有に努めました。

利用については、年間4,221人、一日平均の人数が17、6人（29年度18、

3人、28年度17、9人）で昨年度より少し下がりました。理由としましては、事業所を移られた方、年度途中に亡くなられた方がおられました。ほぼ毎日ご利用いただいている方は12名でした。活動については、担当職員を中心に各プログラムを盛り上げ取り組みました。今後も、生活介護施設として質の高い支援を提供できるように努めていきたいと考えます。新規の利用希望の方への対応が今後の課題となっています。

2) 障害者総合支援法に基づく居宅介護事業

事業所名 ヘルプサービスばけっと

(1) 居宅介護事業

■目的 重度の障害のある方が、地域で暮らし続けることが出来るよう支援することを目的とする。

■事業実績

- 1 運営時間 事務所 月曜から金曜（祝日を除く）
午前8時15分～午後5時00分（以外は転送電話による）
事業 24時間 365日対応
サービス提供時間帯 6:30～23:00
- 2 職 員 所長1名（ヘルパー兼務）
専任ヘルパー2名（女性1名 男性1名）
兼務ヘルパー16名（女性9名 男性7名）
- 3 提供サービス 居宅介護（身体・家事）、通院介助、行動援護
- 4 利用者
 - ・利用者数 居宅介護（通院含）18名（男性10名 女性8名）
宿泊1名（知的） 行動援護4名
 - ・市町村別 米子市16名 境港市3名 大山町1名

(2) 移動支援事業

■目的 重度の障害のある方の外出を支援する事を目的とする。

■実施内容

- 1 運営時間 事務所 (1)に同じ
事業 (1)に同じ
- 2 職 員 (1)に同じ
- 3 提供サービス 移動支援
- 4 利用者 20名（居宅と重複の方有）
・市町村別 米子市17名 境港市3名 大山町1名

※実績時間数、回数は別紙参照

(3) 市町村等が行う特別支援学校児童生徒通学支援事業

■目的 通学バスや公共交通機関等による通学が困難な児童生徒が自動車を使用して行う通学を支援する事を目的とする。

■実施内容

- 自宅 ⇄ 県立皆生養護学校
- 対象者 1名（県立皆生養護学校高等部2年）
職 員 (1)に同じ

事業所名 アシスタントサービスばけっと

(1) 重度訪問介護事業

■目的 重度の障害のある方が、地域で暮らし続けることが出来るよう支援することを目的とする。

■実施内容

- 1 運営時間 事務所 (1)に同じ
事業 (1)に同じ
- 2 職 員 所長1名
専任ヘルパー1名（女性1名）
兼務ヘルパー16名（女性9名 男性7名）
- 3 提供サービス 重度訪問介護（移動含む）宿泊1名
- 4 利用者 3人

※実績時間数、回数は別紙参照

30年度の取り組みについて

- 1 生活介護事業と居宅介護事業の職員の兼務による運営に、会議やノートを使った申し送り、引き継ぎ等を行い混乱が無いよう努めた。
- 2 地域に信頼され、必要とされる事業所を目指し、質の高い支援の提供に努めた。
- 3 職員確保に努めたが、補充するに至らなかった。

平成30年度 介護給付費・地域生活支援給付費 実績報告

(人数)	
	介護給付費(居宅介護・行動援護)
延べ利用者数	295名 (349)
延べ利用回数	5,473名 (5,406)

※()は前年度	
	地域生活支援給付費(移動支援)
	207名 (260)
	645名 (935)

(時間数)	
	身体
	5,183時間 (5,476)
家事	185時間 (184.25)
通院	207時間 (230)
行動	938時間 (1,067.5)
合計	6,513時間 (6,957.75)

(時間数)	
	身体
	781時間 (1,091)

平成30年度 重度訪問介護 実績報告

(人数)	
	重度訪問介護
延べ利用者数	30名 (36)
延べ利用回数	1,424名 (1,465)

(時間数)	
	合計
	5,460時間 (5,523.5)

3) 障害者就業・生活支援センター事業

(1) 障害者就業・生活支援センターしゅーと実績報告書

- 1 開設年月日 平成15年1月6日
2 設置場所 米子市道笑町2丁目126-4 稲田地所第5ビル1階
3 実施施設 障害者就業・生活支援センターしゅーと
4 登録者の概要(平成30年4月1日～平成31年3月31日)
　・登録者数 918名(平成31年3月31日現在)

- ・内訳(障害別)
　1)身体障害 126名
　2)知的障害 368名
　3)精神障害 312名
　4)その他 112名
- ・内訳(就業状況別)
　1)在職者 437名
　2)求職者 310名
　3)その他 171名

5 業務内容

【相談の概要】

- ・相談件数 3,818件(年度中の延べ件数)

- ・内訳(内容別)
　1)就労に関する相談 2,162件
　2)職場定着に関する相談 1,425件
　3)生活に関する相談 215件
　4)就労と生活に関する相談 16件

- ・相談内訳
　1)来所による相談 595件
　2)電話による相談 1,387件
　3)職場訪問 1,582件
　4)家庭・入所施設訪問 13件
　5)関係機関での相談等 241件

【その他事業の概要】

- ・基礎訓練の実施 12件(身体0件・知的3件・精神7件・その他2件)

- ・職業準備訓練の斡旋 1件(身体1件・知的0件・精神0件・その他0件)
・職場実習の斡旋 114件(身体12件・知的32件・精神55件・その他15件)

- 委託訓練2件を含む
・就労者数 103件(身体10件・知的45件・精神41件・その他7件)
・定着訪問の実施 542件

- ・職場定着促進のための在職者の交流活動開催
(1) 昨年同様、在職中・求職中の発達障害のある当事者の方たちの「当事者会」として開催。日々の仕事や生活中での困難さや生きづらさ、将来の希望などについて話し合い、仲間と共に感想しながら自己理解を深めていただいた。

- (2) 支援としては、当事者主体であることを大切にし、参加者の自主的な運営を尊重しつつ関わらせていただいた。具体的には、話し合いの内容をホワイトボードに要約したり、必要な助言をおこなった。

- (3) 実績については以下のとおりです。

開催場所 しゅーと相談室
開催のペリオド 7回
参加のペリオド 22名

・雇用事業所との連絡会の開催

しゅーとの支援で障害者雇用に取り組んでいる事業所の方にお集まりいただき、障害者雇用に関する連絡会を開催した。

【第1回】

日 時 平成30年8月28日(火) 13:30～16:00
会 場 米子市福祉保健総合センター「ふれあいの里」研修室1・2
参加事業所 雇用事業所・16社 関係機関・5機関
その他、障がいのある方の就労支援をすすめる会加入団体(7事業所)にもオブザーバー参加いただいた。

内 容

・情報提供
鳥取県商工労働部雇用人材局雇用政策課より
(鳥取県西部の雇用状況について)
鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課より
(平成30年度事業の概要について)
米子公共職業安定所より
(平成30年度事業の概要について)

・意見交換(グループワーク)
障害者雇用事業所から現状報告いただき、障害福祉サービス事業所、支援機関等と意見交換していただいた。

【第2回】

日 時 平成31年2月14日(木) 13:30～16:00
会 場 米子コンベンションセンター 第7会議室

参加事業所 履用事業所・11社 関係機関・4機関
その他、障がいのある方の就労支援をすすめる会加入団体
(7事業所)にもオブザーバー参加いただいた。

内 容

- ・事例検討(グループワーク)
困難事例に対する対応策の検討
- ・意見交換(グループワーク)
障害者雇用事業所から現状報告いただき、障害福祉サービス事業所、支援機関等と意見交換していただいた。

・就労アセスメント等への取り組み(就労移行等連携調整事業関係)

(1) B型事業所を利用する方全員に対して「就労支援のための評価シート(ひとり版)」を活用して就労アセスメントを実施した。

- ・対象者数 79名(内、5名は直B対象者)
- ・性別内訳 男性52名・女性27名
- ・依頼を受けた相談支援事業所数 21事業所
- ・アセスメントを実施した施設数 37箇所
- ・一般就労希望者数 79名中16名
- ・サービス担当者会への出席回数 16回

(2) 西部地区就労移行等連携調整事業連絡会

【第1回】

日 時 平成30年6月4日(月) 10:00~12:00
会 場 米子市福祉保健総合センター「ふれあいの里」福祉団体活動室
参加機関 県障がい福祉課・米子市障がい者支援課・境港市福祉課・ハローワーク米子・鳥取障害者職業センター・障がい者生活支援センターまちくら・障がい者支援センター和おん・障害者支援センターさかいみなど・相談支援事業所エポック翼・相談支援事業所江美の郷・相談支援事業所つぼみ・障害者生活支援センターすてっぷ・就労移行支援事業所米子ワークホーム・クロスジョブ米子・県立米子養護学校・県立皆生養護学校・琴の浦高等特別支援学校・しゅーと

内 容

- ・協議 「一般就労を希望するB型利用者を就職へと繋ぐには」
- ・その他「就労移行等連絡会議の試行について」

【第2回】

日 時 平成31年2月19日(火) 13:00~15:00
会 場 米子市福祉保健総合センター「ふれあいの里」福祉団体活動室
参加機関 県障がい福祉課・米子市障がい者支援課・境港市福祉課・ハローワーク米子・鳥取障害者職業センター・障害者支援センターさかいみなど・相談支援事業所キララみらい・相談支援事業所江美の郷・相談支援事業所つぼみ・障害者生活支援センターすてっぷ・就労移行支援事業所エポック翼・クロスジョブ米子・県立米子養護学校・琴の浦高等特別支援学校・しゅーと

内 容

- ・平成30年度事業報告(1月末現在)
- ・協議 「就労アセスメントの見直しについて」
- ・その他
就労移行等連絡会議の試行の現状について

(2) 鳥取県版ジョブコーチセンター業務委託実績報告書

1 開設年月日

平成26年5月14日

2 設置場所

米子市道笑町2丁目126桑本ビル1階

3 実施施設

障がい者職場定着推進センターあしすと

4 ジョブコーチ支援の概要

- ・障がいのある者であって、就労時、特に手厚い定着支援が必要な者に対して、推進センターの配置型ジョブコーチ、あるいは推進センターに所属する訪問型ジョブコーチを含めた地域のジョブコーチを派遣し、就労定着の促進を図りました。
- ・ジョブコーチの派遣については、ハローワーク米子、障害者職業センター、特別支援学校等、関係機関と連携しつつ取り組むよう努めました。
- ・また、訪問型ジョブコーチでの対応に時間を要する際は、配置型ジョブコーチが一定期間支援にあたる等、支援のタイミングを外さないよう努めました。

5 業務内容

(1) 職場定着を図るための相談窓口の開設

- ・定着支援の依頼があった事業所数（新規） 18件
- ・定着支援対象者数（新規） 18名

(2) 職場定着を図るための訪問支援の実施、及びジョブコーチ派遣の実施

- ・訪問支援の回数
 - 配置型ジョブコーチ 416件
 - 訪問型ジョブコーチ 609件

- ・ジョブコーチ支援の依頼件数
 - ジョブコーチ支援の依頼があった事業所数 17事業所
 - ジョブコーチ支援の対象者数 20名

(3) 職場定着の推進を図るための体制整備への取り組み

- ・今年度も引き続き、鳥取県西部の法人に在籍するジョブコーチや、平成25年度に鳥取県内で開催したジョブコーチ養成研修に参加した人等を対象に、「ネットワーク会議」を開催し、ネットワークの構築に取り組みました。

・平成30年度 第1回 西部地区ジョブコーチ・ネットワーク会議

7月31日（火）午前10時～12時 ふれあいの里

- ・参加機関 10機関（20名）

- ・議題

- 1 各機関より「平成29年度事業報告」

あしすと、養和会

2 「就労定着支援事業について」

中島哲朗（しゅーと）

3 「ジョブコーチ支援の現状と課題」

酒井大介氏（加島友愛会）

4 その他

・平成30年度 第2回 西部地区ジョブコーチ・ネットワーク会議

1月31日（木）午前10時～12時 ふれあいの里

- ・参加機関 8機関（11名）

- ・議題

1 各機関より「平成30年度事業報告」

あしすと、米子ワークホーム

2 事例検討（グループ討議）

3 その他

(4) その他

・推進センターのさらなる利活用促進に関する取り組み

あしすとでは、主にジョブコーチ支援を中心に取り組んでいますが、ジョブコーチ支援終了後、引き続き定期的に訪問支援させていただく仕組みを用意しています。

支援に入らせていただいた事業所に障害者雇用のノウハウを渡していくのがジョブコーチ支援の目的、目標ではありますが、支援終了後も引き続き事業所とご本人を見守ることで離職を防いでいくことも必要なことと考えています。

なおその際、ジョブコーチ支援同様、支援計画を策定し、訪問支援を実施することとしています。

平成30年度は、新規で9件（継続が59件）、訪問支援いたしました。

4) 相談支援事業 西部圏域5市町村より委託される障害者相談支援事業
障害者総合支援に基づく計画相談支援等の事業

事業実施日 月曜日～金曜日（祝日、夏季休業、年末年始を除く）
9:00～17:45 ※必要に応じて時間外にも対応
□職員 支援員（兼務） 1名

事業所名 障害者生活支援センターすてっぷ

1. 障害者相談支援事業

□目的

障害のある方の相談に応じ、障害福祉サービスの利用援助等、必要な支援を総合的に行うことにより地域生活への移行及び継続と社会参加の促進を図ることを目的とする。

□事業内容

- (1) 市町村相談支援事業 別紙参照
- (2) 計画相談支援、障害児相談支援（実績）
利用者数 308名（3月末現在）
- (3) 地域相談支援（実績）
3名
- (4) 障害支援区分認定調査（米子市、境港市、大山町）
32名（実績）

□運営時間

事業実施日 月曜日～金曜日（祝日、夏季休業、年末年始を除く）
9:00～17:45 ※必要に応じて時間外にも対応

□職員（3月末現在）

職員数	所長（兼務）	1名
	次長	1名
	相談支援専門員	2名
	介助兼事務員	1名
	事務員	1名

□総括及び今後について 別紙参照

2. 地域生活体験事業

□事業内容

在宅または、施設や病院に入院、入所中の方の自立を目指した宿泊体験を支援する。

□利用実績 別紙参照

□運営時間

委託支援センターにおける相談支援状況について（米子市、境港市、日吉津村、南部町、大山町）

相談内容についての全般的な傾向

昨年同様、計画相談にかかる相談が増加し、それに伴い一般相談の件数も増加している。病院や障害者、家族団体等に赴いて障害福祉サービス等の説明や情報提供を行ってきた。また、医療や教育、権利擁護の支援、あるいは、発達障害や精神障害など、障害の特性に応じた支援に関する助言など、障害福祉サービスの利用に結びつかない相談や、障害福祉サービスの利用以外の相談も多くなっている。また、特定相談支援事業所からの相談に対し助言を行い、新規開設の事業所には新規数名の利用者の計画作成時にアセスメント同行、計画作成の助言、担当者会議の同席等、OJTでの事業所（相談支援専門員）支援も行ってきた。

相談に対する事業所側の対応についての総括

事業所の体制としては、利用者の増加や相談内容の多様化に加え、計画相談にかかる相談が高止まりしており、相談支援の業務量が膨大になっていることから、時間外勤務の常態化が続いているが、徐々に移行可能な利用者から特定相談支援事業所に計画相談の引継ぎを進めている。

病院や施設からの地域移行、地域生活の継続、充実等様々な方のケアマネジメント支援を行い、利用者のニーズの充足とエンパワーリング支援に取り組んだ。個別の支援において各関係機関との連携が着実に進んでいると感じられるが、医療機関や地域の小中学校の特別支援学級、介護保険事業所、また、他の圏域にある関係機関・事業所等との連携においては課題もあり、今後もさらに連携を深める必要がある。

また、職員の力量を高めるためできる限り研修等に参加させ、さらに充実した本人中心のケアマネジメント支援を行うことや、医療的ケアの必要な方や発達障害のある方等の相談に対応できる力、地域の課題解決に関して提言できる職員の育成に引き続き努めたい。

夜間、休日は携帯電話に転送となり必要に応じて時間外の対応を行っている。また、今年度も引き続き5名の単身生活者の緊急通報装置の第一通報先となっており、居宅介護事業所等と連携し支援を行っている。

地域移行に結びついた事例（具体的な例）

精神科病院からグループホーム、一人暮らし等の地域移行の支援を行った（米子市）。

今後の課題

- ・一般相談（委託）に支障の出ない体制づくり
- ・関係機関との連携（特に教育機関や医療機関、介護保険事業所等）の強化
- ・障害福祉サービス等（とりわけ、行動障害、重症心身障害の方が利用できるサービスの、社会資源の改善・開発（創出）
- ・相談支援体制の拡充（基幹相談支援センター等）
- ・職員（相談支援専門員）の確保とスキルアップ

(1) 障害別相談件数（件）

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	関係機関	計
件 数	1785	288	783	1427	467	69	130	0	4949 のべ件数（障害者）
	84	13	61	87	19	2	18	0	284 実件数（障害者）
	16	141	142	0	49	0	2	0	350 のべ件数（障害児）
	2	7	9	0	13	0	2	0	33 実件数（障害児）

(2) 支援方法別相談件数（件）

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件 数	658	115	104	1872	48	201	2281	20	5299

(3) 支援内容別相談件数（件）

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件 数	4059	70	336	349	0	37	53	278	72
(再掲) ピアカウンセラー	1129	7	230	80	0	1	13	199	51

	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	住宅の確保等に関する支援	ピア・カウンセリング	その他	計
件 数	2	19	12	1	11	5299
(再掲) ピアカウンセラー	2	14	3	0	11	1740

(4) 地域移行件数（件）

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	計
病院から	0	0	0	4	0	0	0	4
施設から	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭から	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	4	0	0	0	4

平成30年度自立生活体験室利用実績

市町村名	利用者数	利用日数	男性	女性	障害			
					身体	知的	精神	発達
米子市	6名	86日	3名	3名		1名	1名	4名
境港市	1名	2日		1名		1名		
南部町	2名	45日		2名		1名	1名	
倉吉市	2名	10日		2名	1名	1名		
合計	11名	143日	3名	8名	1名	4名	2名	4名

内訳

米子市	男性(発達)	36日
	男性(発達)	6日
	男性(発達)	10日
	女性(知的)	22日
	女性(精神)	6日
	女性(発達)	6日
境港市	女性(知的)	2日
南部町	女性(知的)	43日
	女性(精神)	2日
倉吉市	女性(身体)	3日
	女性(知的)	7日

※対象外米子市男性、精神障害、7日利用

平成30年度相談支援の充実を図るための研修実施要綱

1. 目的

障害者ケアマネジメントの理念やサービス等利用計画作成のプロセス等、計画相談支援等の実践に対する理解を深め、地域における障害のある方に対する相談支援のさらなる充実を図ることを目的とする。

2. 主 催

西部障害者自立支援協議会

3. 開催日時、会場、内容

回	日 に ち	会 場	内 容
1	2月21日(木) 10:00~17:00	ふれあいの里 4階研修室1	障害福祉サービス、在宅医療サービス等、様々な制度やサービスの理解とよりよい活用
2	3月 5日(火) 10:00~17:00	ふれあいの里 4階中会議室3	計画相談におけるアセスメントの手法と支援の実際
3	3月12日(火) 10:00~17:00	ふれあいの里 4階中会議室3	計画相談におけるモニタリングの手法と支援の実際
4	3月18日(月) 10:00~17:00	ふれあいの里 4階研修室1	計画相談におけるストレングスを活かした支援とエンパワメント支援

4. 受講対象者

- (1) 相談支援専門員として相談支援業務に従事している方
- (2) 相談支援従事者初任者研修を修了し、相談支援業務に従事する見込みのある方
- (3) 市町村障害福祉担当職員

5. 定 員

30名

6. 受講料

無 料

7. 受講申込方法及び申込期限

- (1) 別紙の申込用紙に記入していただき、下記の申込先にファクシミリでお申し込み下さい。
- (2) 申込期限：平成31年2月15日(金) 必着

8. 申込先

障害者生活支援センターすてっぷ
米子市道笑町2丁目126-4稻田地所第5ビル1階
電話(0859)37-2120 fax(0859)37-2121

平成30年度地域支援セミナー

日 時	場所(ふれあいの里)	コーディネーター	テー マ	講師	参加人数	
4/26 10:00~11:30	中会議室1、2	すべて 担当:光岡	「今年度の鳥取県の障がい福祉関連施策・事業について」	鳥取県障がい福祉課 課長 小澤幸生	鳥取県子ども発達支援課 課長 高田治美	32
5/29 10:00~11:30	中会議室3	すべて 担当:光岡	「米子市の5歳児健診と発達支援体制について」	米子市福祉保健部こども未来局こども相談課 課長 橋尾宏紀	米子市福祉保健部こども未来局こども相談課 発達支援員 京久野美枝	28
6/ 10:00~11:30	中会議室1、2		未開催		主幹 藤森古都枝	
7/24 10:00~11:30	中会議室1、2	まちくら 担当:藤井	「精神障がいのある方の支援 ～コミュニケーションスキルと支援者のココロのメンテナンス～」	障害者生活支援センターまちくら 相談支援専門員 西古久恵	障害者生活支援センターまちくら 相談支援専門員 大塙玲	43
8/23 10:00~11:30	中会議室1、2	エポック翼 担当:安達	「夏の疲れをスッキリ解消」	医療法人義和院栄養課 管理栄養士 細谷真奈美	医療法人義和会メイカルファミリーセンターCHAX 健康運動指導士 景亜津沙	7
9/28 10:00~11:30	福祉団体活動室	和おん 担当:松下	「保健師と地域との関わり」	福祉保健局障がい者支援課 精神保健担当係長 柴田由美	米子市福祉保健部健康対策課 健康支援係長 藤原美佐子	12
10/29 10:00~11:30	中会議室1、2	さかいみなど 担当:末吉	「鳥取県における強度行動障害のある方への支援の現状について」	鳥取県厚生事業団事務局 企画指導課主任主事 信原和典	障がい者支援センター和おん 相談支援専門員 松下福徳	24
11/20 10:00~11:30	日野町山村開発センター大集会室	江美の郷:長瀬 きらら:福井 つばみ:小谷	パネルディスカッション ～中山間地域における障がいのある方の支援の取り組み事例～	伯耆町社会福祉協議会 西村恭市	相談支援事業所つばみ 小谷博司	47
12/13 10:00~11:30	中会議室1、2	まちくら 担当:藤井	「見えづらさとは～様々な見えづらさによる困難を減らす工夫と支援～」	鳥取県立鳥取盲学校 山崎貢祐、中田真一郎、片山義弘	鳥取県ラトハウス点字図書館 情報支援員 赤星亨	9
1/31 10:00~11:30	中会議室1、2	エポック翼 担当:新川	「一般企業で働く障がい者を支える取り組み」	障害福祉サービス事業所 エポック翼 就労移行支援事業 サービス管理責任者 仙田雪菜	NPOクロスジョブ就労移行支援事業所クロスジョブ米子 管理者兼サービス管理責任者 濱田真澄	23
2/15 10:00~11:30	研修室1	和おん 担当:松下	「障害のある方の保険について」	AIG損害保険(株)代理店シティ アイケウエスト広島(株) 代表取締役 丸本真司	宿泊型自立訓練施設 はばたき ショブコーチ 野口拓也	8
3/26 10:00~11:30	中会議室1、2	さかいみなど 担当:田中	「米子市基幹相談支援センターの設置と4月以降の西部市町村の相談支援体制について」	米子市障がい者支援課 主幹 米田克宏	境港市福祉課 係長 手島由美子	38
(合計)					271	